

請願第1号

国民健康保険料の値上げをしないことを求める請願

紹介議員

丹野直次
杉谷伸夫

国民健康保険料の値上げをしないことを求める請願

【請願趣旨】

国民健康保険法の第1条には「社会保障及び国民保健の向上に寄与する」ことを目的と述べています。しかし国は1984年以降、国民健康保険会計における国庫負担割合を引き下げ、国民健康保険料の値上げを進めてきています。2015年5月の第189回通常国会で成立した「医療制度改革関連法」に基づき、2018年4月から市町村の国民健康保険を都道府県化します。

向日市は都道府県化にむけ、現在の法定外の一般会計繰入金を減らし国民健康保険料の値上げを計画しています。

国保加入世帯は低所得者層や年金生活者が多く、消費税増税や年金の引き下げなどで生活が一層困難になっています。今でも高い国民健康保険料の値上げを認めることはできません。憲法25条は「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定めており、国保への法定外一般会計の繰入は継続すべきです。

国保の値上げをせず、誰もが安心して医療が受けられる国保運営で市民の命と健康を守ることが市に求められています。

【請願事項】

向日市議会として向日市の国民健康保険料の値上げをしないこと

平成29年2月23日

向日市議会議長

小野 哲 様